

◇パワーポイント教室2005の考察・提案◇

- ・パワーポイントは、教材ソフトに最適と考えられた。
 - ・文字とイラストの複合的要素は児童の興味を助長し、かつ、スライド1枚でも発表ができる。
 - ・2時限単位で行うことが望ましい。児童たちは10分の休み時間もパソコンに集中していた。
 - ・6時限で基本が教えられる。5年生で基本を習得することが望ましい。
 - ・発表に差し迫らねばは難しく、児童の興味が進むままに行うことが望ましい。
 - ・6年生で、実際の発表会に望む。発表準備および練習に6時限ほしい。
- (写真・スキャンファイルの準備、発表の企画、発表原稿の作成、スライドの作成、発表練習)
- ・パソコン用語、操作を正確に理解することが、パソコン利用の継続性に重要である。
 - ・パソコン環境上、写真ファイルのサイズをあらかじめ小さくしておく必要があった。
 - ・モニターシステムは好評であった。上手に使っていききたい。

発表

発表に慣れる。
 ・文字入力の発表
 ・1枚のスライドで発表

※モニターシステムの活用

本格的発表
 ・テーマ決め
 ・発表の構成づくり
 ・発表原稿づくり
 ・発表の練習
 ・数枚のスライドで発表

※見本の発表

プレゼンテーションの向上
 ・要約力
 ・説明力
 ・理解力

いい発表
 ・何を伝えたいか分かる。
 ・楽しい。
 →議論したくなる。

文字入力

イラスト作成

メモ帳で練習
 ・キーポジション(両手)
 ・母音
 ・ブラインドタッチ
 ・漢字変換
 ・辞書登録

オートシェイプ
 ・図形の選択
 ・色の修飾
 ・図形の調整
 写真やイメージの挿入

※児童の興味

文字の修飾
 ・太字、斜体、下線、影
 ・フォント、サイズ、色

アニメーション

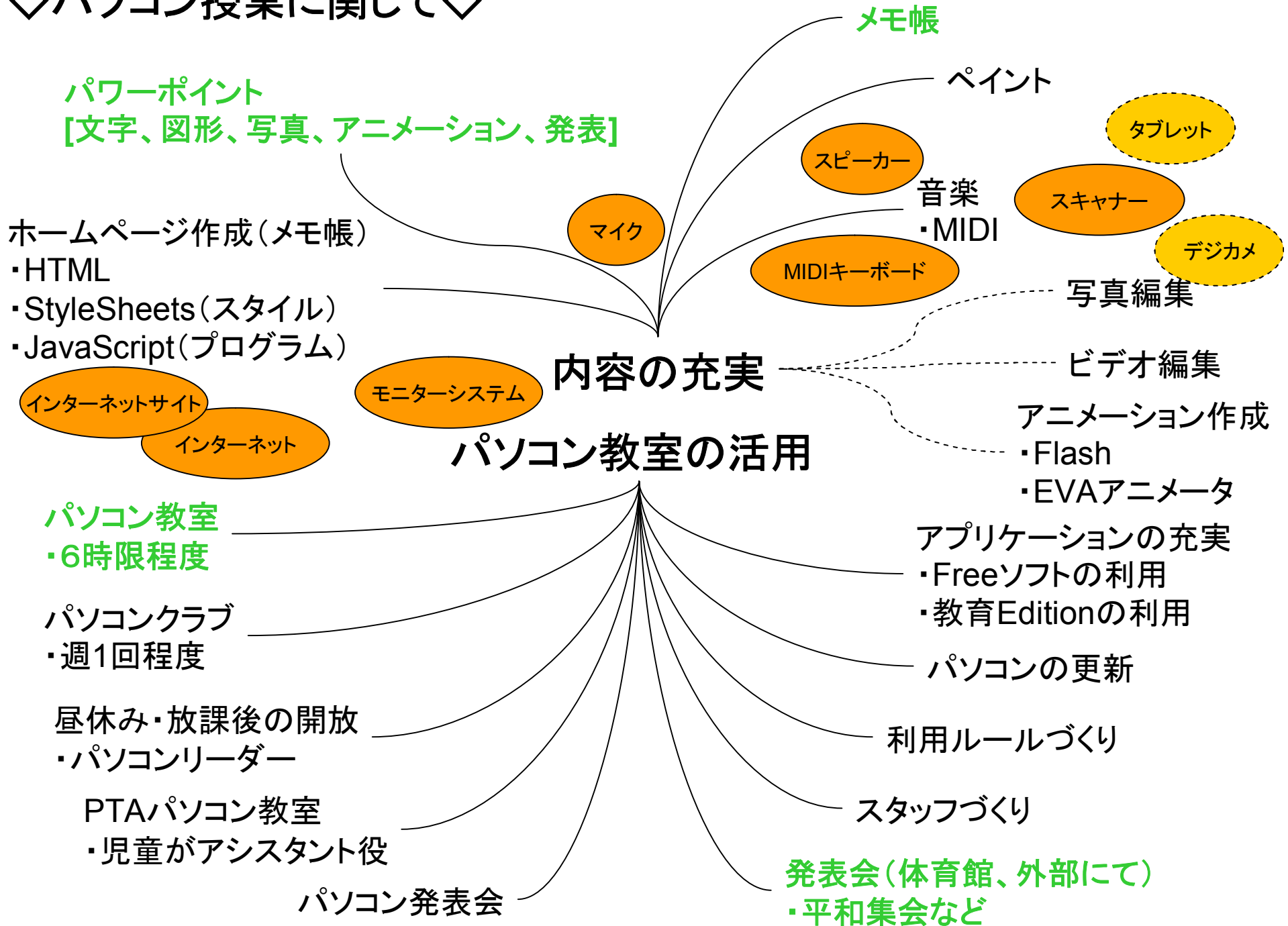
※見本のアニメーション

ワードアート

※児童の興味

スライド作成の向上
 ・デザイン力

◇パソコン授業に関して◇



◇パソコンのうんちく◇

パソコン用語は割りとユーモアが感じられる由来が多くあり、これを耳に入れておくことはパソコン技術が身に付きやすくなる。

電源の記号



0と1を記号化したもの。
0は電源OFF、1は電源ON。

※他の機械のスイッチも見てみよう。

ローマ字入力

両手全部の指が使えるようになると、2倍早く入力できる。
母音をブラインドタッチできるようになると、2倍早く入力できる。
ブラインドタッチは、キーボードを見ないで入力することだか、和製英語。

ショートカット

[Ctrl] + [z] 元に戻す(アンドウ)
[Ctrl] + [x] 切り取り(カット)
[Ctrl] + [c] コピー
[Ctrl] + [v] 貼り付け(ペースト)

※重要なものは、左手下段に集中している。

キーボードの配列

Qwerty配列(クワティ配列)

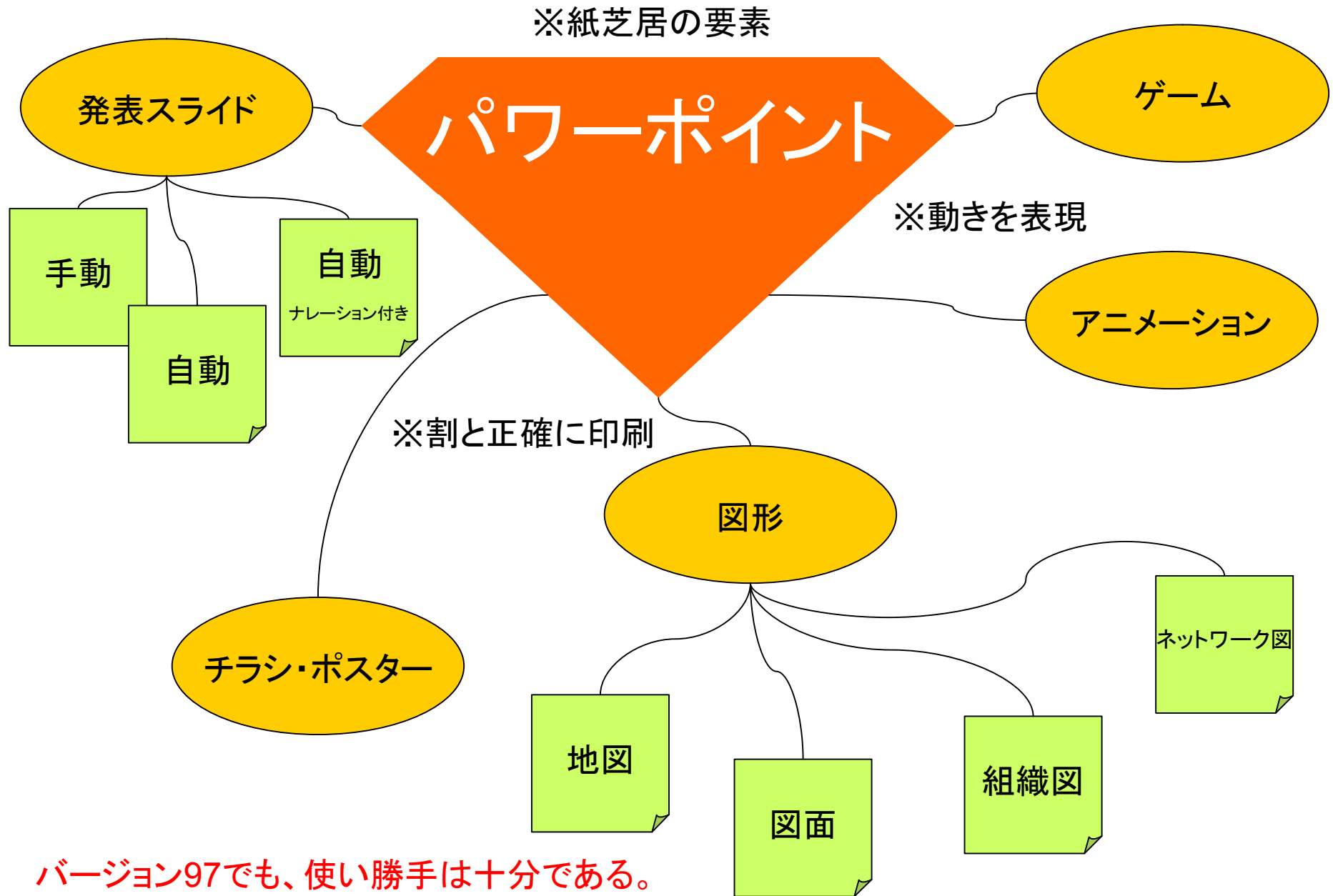
キーボード上段左から Q, W, E, R, T, Y と並んでいることに由来する。
英文をタイプライターでタイプしたとき、連続して出てくる文字の統計をとって、アーム(印字を行うために紙にたたきつける棒)が交差しないように決められた。

特殊キー

[Enter]	エンターキー
[Esc]	エスケープキー
[]	スペースキー
[Del]	デリートキー
[Back Space]	バックスペースキー
[↑ Shift]	シフトキー
[Ctrl]	コントロールキー
[Caps Lock]	キャプスロックキー
[Alt]	オルトキー
[Fn]	ファンクションキー
[Tab]	タブキー

※由来も正確に説明する。

◇パワーポイントの使い道◇



バージョン97でも、使い勝手は十分である。

◇ホームページ作成の授業◇

ホームページ作成の授業は広範囲に及ぶので、計画的に行う必要がある。

※議論無しでは、面白いホームページはできない。

※パソコン教室だけには、ホームページはできない。

企画

興味
継続性
特色
などなど...

題材集め

デジカメ

見学・ヒアリング

インターネット

文章・イラスト・音楽の作成

※テーマを深めていく。

ファイル管理

アルバム

写真加工

ホームページ作成

更新

レイアウト

デザイン

プログラミング

パソコンの仕組み

インターネットの仕組み

電子メール

掲示板(BBS)

※パソコン技術の習得だけでも楽しい。が...

事業

デザイナー

プログラマー

オフ会

◇参考： Windows OSの選択◇

次期OSの発表により、Windows XP搭載パソコンは値下がりしている。
Windows XPは安定しており、アプリケーションも豊富である。
学校教材としてはそん色ない。
値段とサポート期間を見極めて導入を検討されることをお勧めする。

